

進路・職業について考えました

職業研究会

令和元年9月20日（金） 第1学年対象に実施されました。今後の進路選択に向けて大変参考になりました。

1 テーマ 「進路・職業について考える」

2 目的

- ①社会人講師の方からご自身の職業や具体的な仕事の内容・勤労観についてのお話を伺い、自身の進路を考える機会とし、充実した高校生活を送るための一助とする。
- ②近年の若年層における勤労意識の低下がフリーターやニート、早期離職の増加につながっている現状を踏まえ、働くことの意義について学ぶ機会とする。
- ③11月の文・理・コース分けの時期を迎えるに当たり、生徒が将来の進路目標にあった適切な選択をするための一助とする。

3 講座分野



①教育分野 吉田 壮志 先生



②情報分野 山本 涼平 先生



③公務員分野 吉澤 史彰 先生



④医療分野 米澤 円華 先生



⑤福祉分野 塩谷 綾香 先生



⑥建築分野 前田 哲宏 先生

〈生徒の感想〉

教師の仕事の幅が広すぎて驚いた。高校の先生達もそんな風にいっぱい働いて下さっているのなら、感謝しないといけないと思った。すごく熱く教員や進路について語って下さったので、この講座を聞いて良かったなと思った。自分は物事をやる前に色々あきらめてしまうことが多いので、吉田さんの“とりあえず何でもやってみよう。やった人しか分からないことあるじゃん”という言葉に共感しました。だから好きなことも嫌なこともとりあえず全力で取り組もうと思いました。(教育：女子)

知らないものにはなれないので、まず多くのことを知り、なりたいものを見つける。次に、やりたいことを見つけたらそのゴールにたどり着くための具体的な道筋をイメージして、そこに足りないものを多くの経験で埋めていきながら突き進むことが大切。今回の講演で、少ないチャンスをつかむためには人生のノリの良さも必要だと習ったので、少しでも何かを得られそうだと思うならまず調べてみて、興味がわいたらやってみるといった勇気を持つようと思いました。(情報：男子)

印象に残ったのは、公務員という一つの仕事でも様々な体験ができるということです。事務系の公務員は3・4年ごとには部署異動があるので、多くの人と関わったり色々なことができたりするようで、一つの職業でもマンネリ化することがなく自分の身になることができると思います。そのため、とても新鮮な気持ちで働けると思います。講演の内容で、今後自分が意識すべきだと思うことがありました。それは「失敗を繰り返さない」ということです。吉澤先生は、失敗することよりもその失敗を繰り返すことの方が良くないと言われました。私はこれまで同じ失敗を何度もして、そのたびに指摘されて、それでも直さないことがありました。でもそれが一番良くないのだと改めて分かりました。気をつけたいです。(公務員：女子)

私は「リハビリテーション」を、単にまた体を動かせるようにするためのものと思っていたけれど、「自分らしく生きること」を重要にしていると聞いて、単なる機能回復ではない大切なものなんだと思いました。今後は勉強だけでなく、人との関わりを大切に、コミュニケーション能力を高めようと思いました。それに、誰にでも優しくしたり、ボランティアをしたりすることも大切だと思ったので、これからそういうことを頑張りたいと思いました。(医療：女子)

印象に残ったのは“辛いことが多い反面、得られる喜びはその何倍にも相当する”という言葉です。利用者のことを常に考え、どのようにしたら楽しい生活を送ってもらえるかを一人一人に対して考えている姿勢に驚きました。そんな苦勞の先で得られる喜びは僕が簡単に想像できないものだと思います。塩谷さんは、高校時代にボランティアや挨拶を積極的に行うことが大切だと言っておられたので、僕はこれらを実践したいと思います。これらの行動は人と接する力を向上させると思うからです。どのような仕事に就いても人と接する力は必要だと思うので頑張りたいと思います。(福祉：男子)

自分の好きなことを仕事にするとストレスを感じないし、楽しく仕事ができると聞いてとても良いなと思ったし、私もそういう仕事に出会いたいと思いました。それと「夢中だった時間から得た自信」というのはとても良い言葉だと思います。夢中になれるものを見つけて、それを自信につなげることが大切だと思いました。また部活が今は楽しいので、部活を頑張りたいと思いました。(建築：女子)

